

三市民団体と早期に鉄路復旧要請

40万人署名を平野達男復興相に提出

(岩手地本)

2012年07月25日 平野達男復興相に早期鉄路復旧を要請しました。

J R山田線の早期復旧を実現する宮古市民の会（小林一二三会長）をはじめ被災した山田線、大船渡線、気仙沼線沿線の3市民団体は7月25日、平野達男復興相に岩手、宮城、青森、福島各県など3月末から7月中旬にかけて集約した40万人分の署名を提出し、早期の鉄路復旧を要請した。



3団体や民主党国会議員、岩手県議らとともに岩手地本森茂執行委員長も岩手県交運労協副議長との立場で復興庁を訪問。

被災J R山田線の早期復旧・運転再開を求める釜石市民の会村上幸三郎会長が「早期復旧を願っている」と署名を手渡し、小林会長は「三陸鉄道での復旧を望んでいる」と訴えた。また、森委員長からは、街や駅が津波によって流失破壊された。被災地のハイタク労働者は働く職場を失ってしまった。鉄路を早期に復旧し、駅を街の希望のシンボルとしてほしいと訴えた。さらに、被災した中小企業の支援のために、中小企業等グループ補助金の拡充と延長を申し入れた。

平野氏は「山田線は鉄路での復旧が必要だ。大船渡線も当面の足の確保に向けてはバス高速輸送システム（BRT）が必要だが、最終的に鉄路の復旧を求めたい」と述べた。